

送信先 報道各位
送信枚数 本紙を含めて 2 枚
送信日 2024 年 5 月 15 日



ハイロウーリーモンキーとチベットモンキーの移動のお知らせ

平素は当財団の事業につきまして、格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

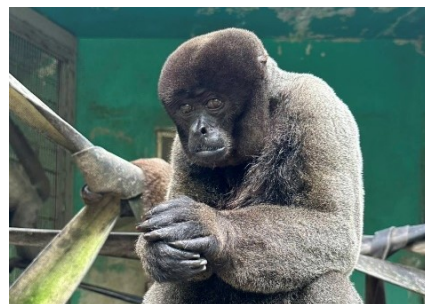
当園でも人気がある、ハイロウーリーモンキーとチベットモンキーがこの度、『横浜市立よこはま動物園ズーラシア(以下、ズーラシア)』に移動することになりました。この移動をもちまして、当園ではハイロウーリーモンキーの飼育展示を終了します(展示種数は 54 種から 53 種になります)。

多くの方に当園の取り組み等を知っていただけるよう、貴メディアにてご紹介ください。何卒よろしくお願いいたします。

■移動个体情報

ハイロウーリーモンキーのオス 2 頭、チベットモンキーのメス 1 頭 計 3 頭

種名:ハイロウーリーモンキー
个体名:アッサム
出生日:2000/4/20
性別:オス
日本モンキーセンターでの飼育場所:南米館



種名:ハイロウーリーモンキー
个体名:ダージリン
出生日:2006/6/30
性別:オス
日本モンキーセンターでの飼育場所:南米館



種名:チベットモンキー
个体名:ミート
出生日:2006/7/21
性別:メス
日本モンキーセンターでの飼育場所:アジア館



■移動予定日

6 月 18 日(火)※休園日

移動にともない、検査等をおこなうため、ケージへの移動を事前におこないます。
そのため、ご覧いただくことができるのは早いと 5 月後半までとなります。

■ハイロウリーモンキーとは

英名 : Geoffroy's Woolly Monkey 学名 : *Lagothrix cana*

生息地 : アマゾン川中上流域

特徴 :

- ・手足と顔、尾紋をのぞいて全身が密な短い毛で覆われている。
- ・体は灰色で、頭は黒い。
- ・クモザルよりもがっしりとした体格で、手足や尾はクモザルより短く、四足性が強い。
- ・食用として狩猟の対象になり、数を減らしている。

■ハイロウリーモンキーを飼育している動物園

日本国内の動物園での飼育数は少なく、数か所のみで飼育されています。個体数も少なく、将来的に国内から姿を消してしまう種のひとつとも考えられています。2020年にも当園からズーラシアにアールグレイ(メス)、ハーブ(メス)、セイロン(オス)の3頭が移動して、昨年繁殖に成功しました。

■チベットモンキーとは

英名 : Tibetan Macaque

学名 : *Macaca thibetana*

生息地 : 中国南部

特徴 :

- ・マカクのなかまではもっとも大型で、オスは15kg前後、メスは10kgほどになる。
- ・おとなどうしの宥和的行動として、2頭がいっしょに赤ちゃんを持ち上げたり、陰部をなめたりする“ブリッジング行動”が知られている。

■チベットモンキーを飼育している動物園

日本国内の動物園では当園とズーラシアのみで飼育されています。個体数も少なく、将来的に国内から姿を消してしまう種のひとつとも考えられています。よこはま動物園ではメス1頭のみが飼育されています。当園では現在5頭飼育しており、移動により4頭になります。

■今回の移動理由

ハイロウリーモンキーは国内にいる個体数も少なく、近い将来日本から姿を消すことが考えられています。ズーラシアと協力し、繁殖に取り組むことで、個体数の維持につながることを期待しています。昨年度繁殖に成功した事例をもとに、新たなペアリングを視野にしています。

チベットモンキーも国内では6頭しか飼育されていません。ズーラシアではワカメという個体が長らく単独飼育となっています。動物福祉向上のため、社会性の強い霊長類の単独飼育を解消すべく、当園からメス1頭を移動することとなりました。新たな群れ形成により、社会的で健康的な生活を送ることができるよう期待しています。

◆当園では檻越しに撮影した動物の画像、動画については極力使用しないよう配慮をお願いしています。撮影が難しい場合は、素材を提供いたしますのでご相談ください。

本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人日本モンキーセンター 〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26
TEL: 0568-61-2327 FAX: 0568-62-6823 メール: info@j-monkey.jp
問い合わせ先: 綿貫、赤見、高野、坂口、浮瀬、高田